

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 5年 2月25日公表

		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		8	0	国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	職員の配置数は適切である		8	0	国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	4	階段わきに手すりが付いております。階段に滑り止め防止を付けております。	車いす等の利用している児童はおりません。2階にあがる階段は引き続き安全に考慮してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		8	0	その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また月2回フレクシオン会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		8	0	年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		8	0	COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式webサイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8	0	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		8	0	年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		8	0	児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		8	0	社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		8	0	長期休暇の利用時は、児童に合わせた活動や支援を長期休暇だからこそできる活動を職員間で考え充実した一日を送れるよう作成しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		8	0	季節の行事を踏まえ固定化しないよう努めております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		8	0	長期休暇時には季節のイベントに付け加えて集団で楽しめる活動をバランスよく提供しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		8	0	個別療育を基本とし、集団活動も取り入れた児童の特性に応じた支援計画を作成しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		8	0	毎朝、朝礼で行っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		8	0	送迎業務があるためその日のうちに共有できなかったことは次の日の朝に必ず共有しております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		8	0	支援内容やその日の体調等を記録し、気になったことは職員間で周知したり、ミーティングノートを活用して支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		8	0	児童発達支援管理責任者が中心となって定期的にモニタリングをおこない、現状の把握をして見直しの必要性を判断しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		8	0	個別療育と集団活動と専門療育を組み合わせしております。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		8	0	対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		8	0	下校時刻等は保護者様から連絡を頂きトラブル発生時には学校へ連絡して速やかに対応しております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		8	0	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		0	8	利用開始時には学校に通われているので、就学前に利用されていた園などの情報共有をする機会は少ないです。保護者様からのアセスメント聞き取り時に当時通われていた園などの様子を伺っております。	今後必要に応じて相談員さん・保護者様にご協力いただいで当時所属の保育所・幼稚園との連携にも注力してまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		6	2	今年度は該当の児童がおりませんでした。移行する児童がおりた場合は、支援内容などの情報提供を行えるように情報整理をしております。	今後移行する児童がおりた場合は、移行先の事業所への十分な情報提供を行い、必要な情報ももれなく引き継げるよう書面等を検討して作成していきたいと考えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		7	1	専門機関からの研修などの案内は、職員間で共有しております。必要に応じて、研修受講を検討しております。	参加型だけでなく、専門機関の発信する情報を積極的に取得して支援に活かしてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8	0	現在は、交流する活動の機会などはございません。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		7	1	現在は参加しておりません。	コロナが落ち着き研修がある場合は参加致します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		8	0	送迎時に児童の様子をお伝えしております。保護者様からの相談を受けるなど、家庭との連携も図っております。電話相談も随時行い、相談援助・アドバイスをしております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4	4	相談を受けた際に改善できるようなアドバイスを保護者様にお伝えしております。	療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案しております。引き続き可能な範囲で取り組んでまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		8	0	保護者様にわかりやすいように丁寧な説明を行っております。また契約の際の読み合わせでは質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		8	0	いただいた相談内容はご家庭と協力して必要な助言と支援を行っております。相談内容によって必要な場合には、相談員や学校などの機関とも連携を図れるように保護者様に情報提供もしております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		0	8	現在は行っておりません。	今後、保護者様同士の連携がニーズとしてあがってきた時には、前向きに検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		8	0	苦情には窓口と責任者を設け、利用開始時にお知らせしております。保護者様からのご意見、苦情にはその日以内に職員間で話し合い改善策を保護者様にご提案しております。	
	34	定期的な連絡を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		8	0	活動概要や行事子どもカレンダー・SNS・Webサイトのブログ・COMPASS便り季刊発行をしております。	
	35	個人情報に十分注意している		8	0	法人の定める個人情報保護に則って、名前の表示・状態等の流布・外での会話を行わないよう徹底しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		8	0	平易な言葉、記憶に残すための記録、図解、身振り手振り、言い換え、例話、確認等を情報伝達の配慮をしております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		0	8	現在、行っておりません。	地域の方と交流できる場があれば検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		8	0	各種マニュアルは壁面に掲示して、保護者様にご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童と共に避難訓練を実施しております。訓練を実施した後はその様子も含めて保護者様にお伝えしております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		8	0	避難訓練は、年間計画を立てて児童も参加して定期的に実施しております。連絡帳のカレンダーで、前月に実施予定日をお知らせし、訓練の様子は次の月の連絡帳カレンダーを通して紹介しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		8	0	事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		8	0	契約時にやむを得ず身体拘束をする場合があることを承諾して頂いております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		8	0	指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		8	0	ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して再発防止、周知ミーティングを行いながら再発防止につなげております。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

